



あいな人 File_32
いちのせきを愛する人

生還者は語る会主宰者

梶山勝宏さん

Tsukiyama Katsuhiko 71 一関市東中田

子供たちが書いた感想文が、勝宏さんの心を揺さぶった。社会の授業で、第二次世界大戦中に父を失った戦争体験を子供たちに語った。

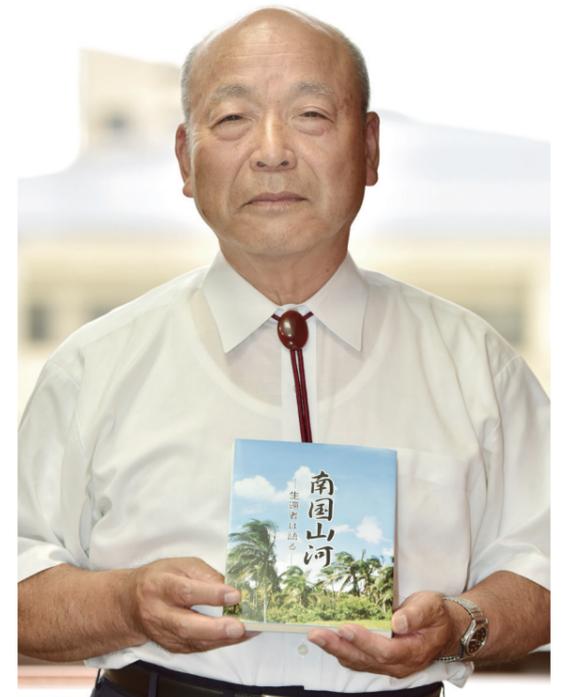
「ある子供が『自分は、ささいなことで父親とけんかした。先生はそれすらできなくてかわいそう』と感想を書いてきた」と当時を振り返る。子供の素直さに感心する一方、語り継ぐことの大切を痛感した。

今から70年以上前の話。1944年6月、ときは戦時下。岩手、山形両県の21～35歳までの男性、およそ1800人に軍の召集令状が届いた。多くは妻帯者。子供もいた。勝宏さんの父、誠一さんも山形の部隊に召集された。勝宏さんが生まれてから4カ月ほどのことだ。

誠一さんは、輸送船の指揮官である門間康泰氏率いる部隊に所属した。部隊は指揮官の苗字と名前の頭文字から「もや」と呼ばれた。山形に集められたもや部隊の渡航者はおよそ6000人。輸送船17隻、護衛艦4隻の大船団だ。36日間、1畳のスペースに6人が膝を抱えて過ごす。食事は1日2食。台湾の高雄港で約2週間停泊し、空腹に耐えかね、食べてはならない黒砂糖を食べて上官に殴られるなどトラブルは絶えなかった。船内の衛生状態も悪く、3人の病死者も。海へ葬ったという。

無事にマニラ港に到着した部隊は他の部隊と合流。福井大隊と名を変え、米軍と戦火を交えたという。

辛い記憶。生の声を編纂
子供らに体験を語り継ぐ



「父は45年3月、フィリピン北部の神威山で戦死。父の葬儀のとき、私は3歳。ひつぎを開けると位牌と石ころしか入っていなかった。今でも鮮明に覚えている」と涙ぐむ。市内にも多くの遺児がいる。小説でも映画でもない。一関でも戦争は起きていた。

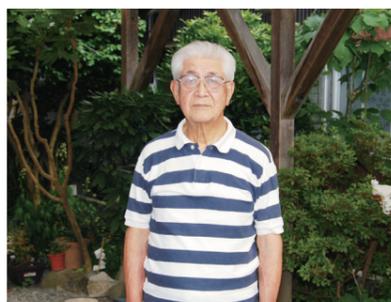
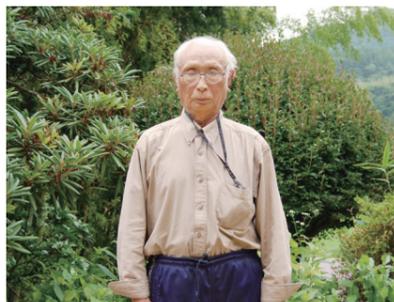
勝宏さんは2008年、生還者の生の声をまとめた「南国山河」を出版。「平和なときは平和のありがたさに気付けない。個人が誠実明朗であれば、平和は決して夢物語ではない」と語尾を強めた。

Profile

1944年巖美町生まれ。62年、一関二高卒業後、本寺中冬季祭時分校の教師として教職の道を歩み、子供たちに「戦争体験」を伝えた。2004年弥栄小学校長を最後に教職を退き、08年「もや・いふ部隊の会」の事務局長としてフィリピン慰霊の旅に赴く。

終戦から70年・特集
あの日の証言
今、戦争と平和を考える

戦争を体験した人たちの胸に刻まれたあの日の記憶。恐怖、悲しみ、憎しみ、辛さ、苦しさ一忘れられない感情。歳月とともに戦争体験者は高齢化。人々の戦争の記憶は、風化しつつあります。戦後に生まれた人たちが、国民の80%を占めるといわれている現在。日本が平和になった一方で、世界には、いまだ戦争や紛争を続けている地域もあります。終戦から70年の節目に、戦争と平和について考えます。



どれだけの歳月が流れても忘れてはいけない記憶がある
Remember for Peace
私たちは思い出す
平和な世界のために

解体のことならお任せください。一般住宅・車庫・物置・倉庫から工場まで
廃棄物のリサイクル・中間処理も自社で行っております。
●コンクリート・アスファルト廃材の受入れ・再生砕石の生産
●再生砕石の販売 [土場渡し価格m³当り 1,080円(税込)]
見積無料
例 4t 4tダンプ1台あたり(運搬込み) 一関地区 4,860円(税込)
●廃木材(解体材・パレット類・伐根等)受入れ・チップ化
●環境にやさしいチップ化で、ボード原料・燃料化を促進しています。
産業廃棄物収集運搬 岩手県知事許可番号 0304021279 産業廃棄物処分 岩手県知事許可番号 0344021279
有限会社 中村解体 URL http://n-kaitai.ftw.jp/

こだわっています! 地域の話。地域とともに歩む「岩手日日」
購読料(1か月) 2,400円
岩手日日販売株式会社 TEL.0120-22-4317
●本社一関店 一関市新大町39 TEL.0191-23-8693
●東山店 一関市東山町長坂字西本町26-13 TEL.0191-47-3444
●水沢店 奥州市水沢区太日通り1丁目7-5 TEL.0197-51-6380
●江刺店 奥州市江刺区大通り1-15 TEL.0197-35-7220
●北上店 北上市鍛冶町二丁目14-37 TEL.0197-65-3887
●花巻店 花巻市花巻町3-23 TEL.0198-41-2255
●石巻店 花巻市石巻町北寺林第11地割106-1 TEL.0198-46-1610
お試しサービス実施中
詳しくはお問合せ